

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 事業所名 | 株式会社リベラー                 |
| 住所   | 大阪府大阪市中央区谷町3丁目1番9号MGビル2階 |
| 電話番号 | 06-6948-5435             |

|       |            |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2719402717 |
| 管理者名  | 住吉 健太郎     |
| 対象年度  | 令和4年度      |

## (Ⅰ) 労働時間

|  |   |    |   |
|--|---|----|---|
| ①1日の平均労働時間が7時間以上                       |   | 70 | 点 |
| ②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満                  | ○ |    |   |
| ③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満                  |   |    |   |
| ④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満               |   |    |   |
| ⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満               |   |    |   |
| ⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満                  |   |    |   |
| ⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満                  |   |    |   |
| ⑧1日の平均労働時間が2時間未満                       |   |    |   |
| ①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点 |   |    |   |

## (Ⅱ) 生産活動

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| ①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上      |   | 5 | 点 |
| ②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上  |   |   |   |
| ③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上 |   |   |   |
| ④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上ではない  | ○ |   |   |
| ①40点 ②25点 ③20点 ④5点                                     |   |   |   |

## (Ⅲ) 多様な働き方（※）

|                          |  |   |    |
|--------------------------|--|---|----|
| ◎ ①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度 |  | ○ | 点  |
| 就業規則等で定めている              |  |   |    |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある    |  |   |    |
| ◎ ②利用者を職員として登用する制度       |  | ○ | 点  |
| 就業規則等で定めている              |  |   |    |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある    |  |   |    |
| ◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律     |  | ○ | 点  |
| 就業規則等で定めている              |  |   |    |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある    |  |   |    |
| ④フレックスタイム制に係る労働条件        |  | ○ | 10 |
| 就業規則等で定めている              |  |   |    |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある    |  |   |    |
| ⑤短時間勤務に係る労働条件            |  | ○ | 35 |
| 就業規則等で定めている              |  |   |    |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある    |  |   |    |
| ◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件         |  | ○ | 点  |
| 就業規則等で定めている              |  |   |    |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある    |  |   |    |
| ◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度  |  | ○ | 点  |
| 就業規則等で定めている              |  |   |    |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある    |  |   |    |
| ◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項        |  | ○ | 点  |
| 就業規則等で定めている              |  |   |    |
| 就業規則等で定めており、前年度の実績がある    |  |   |    |
| 小計（注1）                   |  | 8 | 点  |

（※）任意の5項目を選択すること

（注1）8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

## (Ⅳ) 支援力向上（※）

|  |  |   |    |
|--|--|---|----|
| ◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会                       |  | ○ | 35 |
| 参加した職員が1人以上半数未満であった                            |  |   |    |
| 参加した職員が半数以上であった                                |  |   |    |
| ◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表                          |  | ○ | 点  |
| 1回の場合  |  |   |    |
| 2回以上の場合  |  |   |    |
| ◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ                              |  | ○ | 点  |
| いずれか一方のみの取組を行っている                              |  |   |    |
| いずれの取組も行っている                                   |  |   |    |
| ◎ ④販路拡大の商談会等への参加                               |  | ○ | 点  |
| 1回の場合  |  |   |    |
| 2回以上の場合  |  |   |    |
| ◎ ⑤職員の人事評価制度                                   |  | ○ | 点  |
| 人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している        |  |   |    |
| ◎ ⑥ピアサポーターの配置                                  |  | ○ | 点  |
| ピアサポーターを職員として配置している                            |  |   |    |
| ◎ ⑦第三者評価                                       |  | ○ | 8  |
| 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。           |  |   |    |
| ◎ ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等                          |  | ○ | 10 |
| 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている |  |   |    |
| 小計（注2）   |  | 8 | 点  |

（※）任意の5項目を選択すること

（注2）8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

## (Ⅴ) 地域連携活動

|  |   |    |
|--|---|----|
| 地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している | ○ | 10 |
| 1事例以上ある場合:10点  |   |    |

| 項目     | 点数 |     |     |     |     |     |     |     |    |
|--------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 労働時間   | 5点 | 20点 | 30点 | 40点 | 45点 | 55点 | 70点 | 80点 | 70 |
| 生産活動   | 5点 |     | 20点 |     | 25点 |     | 40点 |     | 5  |
| 多様な働き方 | 0点 |     | 15点 |     | 25点 |     | 35点 |     | 35 |
| 支援力向上  | 0点 |     | 15点 |     | 25点 |     | 35点 |     | 35 |
| 地域連携活動 | 0点 |     |     |     | 10点 |     |     |     | 10 |

合計

155

点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績 I～IV）

(I) 労働時間

|                             |        |    |                   |       |    |
|-----------------------------|--------|----|-------------------|-------|----|
| 前年度（ 年度）                    |        |    |                   |       |    |
| 雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間 | 44,352 | 時間 | 雇用契約を締結していた延べ利用者数 | 7,392 | 人  |
|                             |        |    | 利用者の1日の平均労働時間数    | 6     | 時間 |

(II) 生産活動

|                 |              |   |              |               |   |
|-----------------|--------------|---|--------------|---------------|---|
| 会計期間（ 月～ 月）     |              |   |              |               |   |
| 前々年度（ 年度）       |              |   |              |               |   |
| 生産活動収入から経費を除いた額 |              | 円 | 利用者に支払った賃金総額 |               | 円 |
|                 |              |   | 収支           |               | 円 |
| 前年度（令和4年度）      |              |   |              |               |   |
| 生産活動収入から経費を除いた額 | -185,829,195 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 12,716,586    | 円 |
|                 |              |   | 収支           | ▲ 198,545,781 | 円 |

(III) 多様な働き方

前年度（ 年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p><b>①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度</b></p> <p>◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数 3名</p> <p>※取得を進めた免許等： 精神保健福祉士</p> <p>大阪府移動支援業者養成研修・実務者研修制度の活用内容： 自社正規雇用を目標にA型利用者への相談・支援業務等、支援する側で活躍して貰おう。</p>  | <p><b>②利用者を職員として登用する制度</b></p> <p>◎職員として登用した人数 107名</p> <p>◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※登用した日 令和4年7月1日</p> <p>勤務形態：パートタイム</p> <p>就業時間：9時30分～16時30分</p> <p>職務内容：職業指導員</p> | <p><b>③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律</b></p> <p>◎在宅勤務を行った人数 0名</p> <p>※実施した期間：●月●日～●月●日</p> <p>就業時間（在宅勤務）：●時●分～●時●分</p> <p>職務内容：○○○</p>                              |
| <p><b>④フレックスタイム制に係る労働条件</b></p> <p>◎フレックスタイム制を活用した人数 0名</p> <p>※実施した期間：●月●日～●月●日</p> <p>就業時間（コアタイム）：●時●分～●時●分</p> <p>職務内容：○○○</p>  | <p><b>⑤短時間勤務に係る労働条件</b></p> <p>◎短時間勤務に従事した人数 0名</p> <p>※実施した期間：●月●日～●月●日</p> <p>就業時間（短時間）：●時●分～●時●分</p> <p>職務内容：○○○</p>  | <p><b>⑥時差出勤制度に係る労働条件</b></p> <p>◎時差出勤制度を活用した人数 0名</p> <p>※実施した期間：●月●日～●月●日</p> <p>就業時間（早出の場合）：●時●分～●時●分</p> <p>就業時間（遅出の場合）：●時●分～●時●分</p> <p>職務内容：○○○</p> |
| <p><b>⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度</b></p> <p>◎時間単位取得を活用した人数 0名</p> <p>◎計画的付与制度を活用した人数 0名</p> <p>※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 <input type="checkbox"/></p> <p>計画的付与制度 <input type="checkbox"/></p> <p>取得した期間：●月●日～●月●日</p> <p>取得日数・時間 ●日 ●時間</p> | <p><b>⑧傷病休暇等の取得に関する事項</b></p> <p>◎傷病休暇等を取得した人数 9名</p> <p>※取得した内容： コロナ感染による入院</p> <p>取得した期間：12月15日～12月21日</p> <p>就業時間：9時30分～16時30分</p> <p>職務内容：デザイン、データ入力</p>   |  |

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（令和4年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p><b>①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会</b></p> <p>◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>◎研修実施回数 外部 2回/内部 8</p> <p>対象職員数 6人</p> <p>うち研修受講者数 54人</p> <p>※研修名 身体拘束の禁止について</p> <p>研修講師 住吉 健太郎</p> <p>実施日・受講者数 7月 7日 7人</p> | <p><b>②研修、学会等又は学会誌等において発表</b></p> <p>◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 0回</p> <p>※研修、学会等名 ○○○</p> <p>実施日 ●月 ●日</p> <p>※学会誌等名 ○○○</p> <p>掲載日 ●月 ●日</p> <p>発表テーマ ○○○</p>   | <p><b>③視察・実習の実施又は受け入れ</b></p> <p>◎先進的事業者の視察・実習の実施している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>◎他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※先進的事業者名 株式会社テクリオ</p> <p>実施日/参加者数 9月 21日 3人</p> <p>※他の事業所名 ○○○</p> <p>実施日/参加者数 ●月 ●日 ●人</p> |
| <p><b>④販路拡大の商談会等への参加</b></p> <p>◎販路拡大の商談会等への参加回数 2回</p> <p>※商談会等名 ビジネスチャンス発掘フェア2022</p> <p>主催者名 株式会社YRK and</p> <p>日時 10月16日～10月17日</p> <p>内容 販路拡大のための視察、交流会</p>   | <p><b>⑤職員の人事評価制度</b></p> <p>◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>人事評価制度の制定日 令和4年4月1日</p> <p>人事評価制度の対象職員数 107名</p> <p>うち昇給・昇格を行った者 107名</p> <p>当該人事評価制度の周知方法 紙面にて</p> | <p><b>⑥ピアサポーターの配置</b></p> <p>◎ピアサポーターを配置している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>※配置期間 3月25日～</p> <p>就業時間 9:30～16:30</p> <p>職務内容 支援員</p>                                  |
| <p><b>⑦第三者評価</b></p> <p>◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/></p> <p>※評価を受けた日 ●月 ●日</p> <p>第三者評価機関 ○○○</p>   | <p><b>⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等</b></p> <p>◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/></p> <p>※認証を受けた日 ●月 ●日</p> <p>規格等の内容 ○○○</p>   |  |

(※)実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

|      |                       |       |            |
|------|-----------------------|-------|------------|
| 事業所名 | 株式会社リベラーラ             | 事業所番号 | 2719402717 |
| 住 所  | 大阪市中央区谷町3丁目1番9号MGビル2階 | 管理者名  | 住吉 健太郎     |
| 電話番号 | 06-6948-5435          | 対象年度  | 令和4年       |

## 地域連携活動の概要

|  |  |
|--|--|
| <p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>本事業所では障がいを持つ方のためのe-sportsの日本における発展と啓蒙にむけ、令和4年9月に株式会社絆ホールディングスからの依頼を受けてe-sports大会の企画立案を請け負った。日本のみならず海外における障がい者e-sports大会に関してリサーチを行い、どういった形で大会を行っていくかについて模索を行った。しかし2022年度は新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から休業を余儀なくされ、大会を開催する事ができなかった。</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <p>地域連携活動のねらい</p> <p>日本国内における障がい者e-sportsの発展と啓蒙</p> <p>地域にとってのメリット</p> <p>大阪市、ひいては日本における障がい者e-sportsを推し進める事により新たな経済領域を拡大せしむる。</p> <p>対象者にとってのメリット</p> <p>障がいを持った方が自信を持って積極的に経済活動に参画する事ができる。</p> <p>身体的なハンディキャップを持った方であってもe-sportsを行う事で活き活きと活動する事ができる。</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>実施した結果</p> <p>e-sports大会の企画について対象の利用者へ伝える事で動画作成方法や動画編集方法、ナレーションや字幕のつけ方、映像の魅せ方等についての自己学習を精力的に取り組んでもらう事ができた。また、そのことが休業中におけるモチベーションにつながった。</p> <p>課題点</p> <p>世界的に見ても日本におけるe-sports市場は小さく、e-sportsの市場価値の啓蒙とさらなる発展のための努力が必要であると考えている。</p> | <p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>活動の様子の写真</p>    <p>活動内容の追加コメント</p> <p>今後e-sportsの大会等を開催する際にはどのような手順、告知また参加者のルールを定めればよいかなどについて他事業所、また海外の障がい者e-sports大会の事例を踏まえて助言させて頂いた。また、必要な機材、開催に必要な費用等についても大まかな提案を行った。また、e-sportsの役割に関しても、それ自体をビジネス目的としてだけでなく、広告や宣伝、広報活動等幅広い分野にて活躍の場を広げていける事を確認できた。</p> |
|--|--|

## 連携先の企業等の意見または評価

## 連携した結果に対する意見または評価

## 今後の連携強化に向けた課題

株式会社絆ホールディングスは障害者総合支援法に基づくサービスを運営しており、今回の企画によりe-sportsを通じて共生社会を目指し、適材適所で障がいの有無に関係なく活躍できるユニバーサルな街づくりを目指します。そのような取り組みを行っている弊社の認知度が上がる事により、弊社の活動内容を地域の方々にも知って頂き、新たに弊社サービスを利用したいというお声にもつながると考えております。

|        |               |      |       |
|--------|---------------|------|-------|
| 連携先企業名 | 株式会社絆ホールディングス | 担当者名 | 下川 弘美 |
|--------|---------------|------|-------|

## 就労継続支援 A 型事業所における販路拡大に向けた商談会参加報告

|      |                          |       |            |
|------|--------------------------|-------|------------|
| 事業所名 | 株式会社リベラーラ                | 事業所番号 | 2719402717 |
| 住 所  | 大阪市中央区谷町3丁目1-9 MG大手前ビル2階 | 管理者名  | 住吉 健太郎     |
| 電話番号 | 06-6948-5435             | 対象年度  | 令和 4 年度    |

## 販路拡大の商談会等への参加

|   |   |
|---|---|
| <p>&lt;活動内容&gt;</p> <p><b>活動場所</b> マイドームおおさか 2 階・3 階展示場</p> <p><b>実施日程</b> 2022年11月16日(水)13:30~16:30<br/>2022年11月17日(木)10:30~15:00</p> <p><b>活動目的</b><br/>ビジネスチャンス発掘フェア 2022 への参加を行い<br/>出展企業との交流促進により今後の販路拡大を目指す。</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <p><b>活動のねらい</b> 本事業所の主要な活動である動画、デザイン、プログラミングを他社の業務連携、協力を図る。</p> <p><b>事業所にとってのメリット</b> 事業運営の安定化</p> <p><b>対象者にとってのメリット</b> 業務委託を図ることにより、本業へ注力する事ができる。</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p><b>実施した結果</b> 異業種間での意見交換及び、弊社事業における強みと弱みの抽出。</p> <p><b>得られた成果</b> 企業によって抱えている課題が違っており、課題克服のために本事業所の事業内容がマッチングさせる事も十分可能だと分かった。</p> <p><b>課題点</b> 企業によって抱えている課題が違う事により、パッケージ化された業務委託内容ではだめだと感じた。企業ごとにヒアリングして課題抽出に取り組みなければならないと感じた。</p> | <p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p><b>活動の様子の写真</b></p>   <p><b>活動内容の追加コメント</b></p> <p>八尾市や門真市などから、ものづくりで出展している企業も多かった。担当者の説明や実際に展示されている商品から優れたもの、技術である事が良く分かった。</p> <p>しかしその一方で、他社或いは顧客へのアピールという点で認知度が低いと感じた企業もあった。</p> <p>本事業所の広告、紹介動画の作成により魅せ方やアピールを工夫する事により当該企業における更なる集客、顧客開拓の手伝いができるものと考えられる。</p> |
|---|---|

## 販路拡大に向けた企業等の意見または評価

|  |             |      |       |
|--|-------------|------|-------|
| <p>チラシ広告やリーフレットは多くの企業が自社或いは委託という形で作成を行っていたが、デザインの刷新や業務内容の変更等で変更を考えている企業も多く見られた。こういった企業の内情に関しては、企業のホームページを見ていても分からないので商談会にて実際の担当者から話を聞ける貴重な場となった。また、今回弊社は出展側としての参加は行わなかったが、事業所の活動内容を周知する目的のためにも出展側としての参加も検討していきたい。</p> <p><b>今後の支援力強化に向けた課題</b></p> <p>今回の出展には個々の企業だけでなく、自治体や地域行政、大学の参加も見られた。産官学の連携という観点からも、企業だけをターゲットにするのではなく様々な経済主体を見据えていく必要があると感じた。また、企業側のニーズに応えられる商材作成のために人材のさらなる育成が必要と感じた。</p> |             |      |       |
| 企業名  | 株式会社YRK and | 担当者名 | 宮本 義彦 |

## 他の就労継続支援 A 型事業所における視察実施状況報告書

|      |                        |       |            |
|------|------------------------|-------|------------|
| 事業所名 | 就労継続支援A型・B型 ロジックラボ     | 事業所番号 | 2711800991 |
| 住 所  | 大阪市西区立売堀1-11-17スギタビル6F | 管理者名  | 東 二郎       |
| 電話番号 | 06-6585-9813           | 対象年度  | 令和4年度      |

## 視察・見学の概要

|  |   |
|--|---|
| <p>&lt;活動内容&gt;</p> <p><b>視察場所</b> ロジックラボ</p> <p><b>実施日程</b> 令和4年9月21日（水）<br/>13:00～</p> <p><b>参加者数 等</b><br/>東（株式会社テクリオ）<br/>住吉（株式会社リベラー） 田代（NPO法人リアン） 末藤（株式会社リアン）</p>  | <p>&lt;視察の様子&gt;</p> <p><b>活動の様子</b><br/>事業所の取り組みについてサビ管の東文恵様から説明をお聞きした。システム開発とeスポーツについての取り組みについて、また在宅での業務の方法についてどういった取り組みをなされているかについて詳しく伺う事ができた。その後質疑応答の時間を設けて頂き、実際に研修の様子を見学させて頂いた。講師と利用者様と一緒に取り組まれている所が印象深かった。</p> <p><b>成果物の写真</b></p>  |
| <p>&lt;目的&gt;</p> <p><b>他地域での事業活動見学</b><br/><b>今後の事業活動にとってのメリット</b></p> <p>今後本事業所にてe-sports業務を行っていくにあたっての将来展望や、その際の外部との連携について学ぶことができた。</p>   | <p><b>活動内容の追加コメント</b></p> <p>A型・B型の併用による事業所にて事業展開されており、A型事業は主にシステム開発および保守・点検、B型事業はeスポーツに力を入れられている。開設の翌年から定期的に障がいのある方向けにeスポーツ大会の運営も積極的に行ったり、実際にプロのe-sports選手を講師として招いたりと普及活動を他団体と連携しながら行われていた。</p>  |
| <p>&lt;成果&gt;</p> <p><b>実施した結果</b> 今後大きくなっていく「eスポーツ」への就労に繋げていく取り組みが参考になった。</p> <p><b>得られた成果</b> SNSの活用により活動内容を外部へ周知していく事が事業としてやっていく場合は大切な事だと教えられた。</p> <p><b>課題点</b> 実際にプロとしての経験があり、人に教えることができる人材確保、また日本国内におけるe-sportsの認知、普及が今後の課題だとの事だった。</p> |   |

## 連携先の企業等の意見または評価

|  |          |      |      |
|--|----------|------|------|
| <p><b>視察した結果に対する意見または評価</b></p> <p>eスポーツ事業を行う中で、他企業との連携も必要だという事が改めて理解できた。また、事業所の代表が日本全国の障がい者e-sportsの大会、イベントに積極的に参加し、横の繋がりが出来たことが一番の成果だとの事だった。</p> <p><b>今後の事業強化に向けて</b></p> <p>SNSは情報の発信力や人の目につく頻度について利点があるので、今後事業所として外部へ情報を発信する際にSNSは非常に有効であると言える。但し、SNSは昨今問題となっている炎上、もしくは誤発信などのリスクもあるため慎重に使う必要がある。また、障がい者eスポーツ団体等の活動への参加をしていくことで、地域連携での横のつながりも形成していきたい。</p> |          |      |      |
| 連携先企業名   | 株式会社テクリオ | 担当者名 | 東 文恵 |